

アグリ **A G R I** ワーク **W O R K** ポイント **P O I N T**



果樹林産センター 小柳 博明

みかん
品質向上に
向けて

果汁の蓄積と果実肥大

この時期は、ミカンの果汁の蓄積や果実肥大が最も進みます。1年間で最も暑い時期を迎えますが、熱中症など体調には充分注意し、品質向上対策や病害虫防除に取り組みましょう。

着果管理対策

着果の多い樹に対して、7月に樹冠上部摘果や枝別全摘果を実施したと思いますが、取り残した果実があると隔年結果防止効果が低下します。目残しが無いように手直し摘果を行うとともに小玉やスソ成り果、外觀不良果を摘果しましょう。着果の少ない樹は、9月にまとめて外觀不良果等を摘果してください。

品質向上対策

マルチ被覆
マルチ被覆は、糖度上昇や着色促進、チャノキイロアザミウマの忌避効果が期待できます。園地の状態に合わせて被覆時期や被覆方法を選択しましょう。

フィガロン散布
1回目の散布から20日後に2回目を散布してください。樹勢が低下した樹への散布は控えましょう。

フィガロン乳剤（2回目） 満開後90日（早生80日） 3000倍

かん水
夏季の雨量が少ないと減酸の遅れが心配されます。朝方になっても葉がまいている時は過乾燥ですので、10a当たり3〜5tを目安に夕方にかん水を行ってください。

方法	被覆時期	目的	条件	備考
全面マルチ	8月上旬～8月中旬	着色促進 糖度向上	耕土が深く、根群分布が広い園地	乾燥しやすい園地では、横径4cm時に実施
部分マルチ	8月下旬～9月上旬	着色促進	耕土が浅く、乾燥しやすい園地	

病害虫防除

黒点病の防除は前回の散布から1か月経過もしくは、累積降雨量が250mmに達した時が目安です。害虫の発生状況に応じて殺虫剤を混用しましょう。

また、まとまった降雨が予想される場合は、黒点病の防除効果を持続させるために固着剤アピオンEを1000倍で加用しましょう。アピオンEは最初に10ℓの水でよくかき混ぜて薄めてからタンクに入れてください。

黒点病

エムダイファア水中和剤 600倍（60日〜2回）
チャノキイロアザミウマ・ミカンサビダニ

アグリメック 2000倍（7日〜3回）
カイガラムシ類

スプラサイド乳剤 1500倍（14日〜4回）
果皮強化

バイカルティ 1000倍